にて御附ば国安勝官雄少佐十五分京城通過の『ひかり』 王段下には十七日午町三時

十や否や 「休めツー」

郷を述べた

ッ外に知らないこの家で学

ない、歌といへば選美歌上ときたら句ひも嗅いだこと 長の家に沿つた。そして潜 たとき、南朝鮮軍司令官は ン夫婦で有名な水戸農児校

映画が水戸閉立で銀行され

て来て、一通り提内を見越 部諸語に集めて新伝の原復官衝型校の長官を省門第一 を述べたが、この時用陸桐 は揺の中へのこくと入つ

薬園に頭を描いた

で居る、大止十三年金澤的は極めて佩重比決脈に富んな生格だが、大事に當つて そんな風な無温作な宝直

と思ってやったんだがいた。僕としては籍頭な思

した時軍司令部から院里

の批響を襲つた「磨夹弾」の批響を襲つた「磨夹弾」の語攻撃に渡つたので周章 金に折戦をつけられたのは めて疾風窓器のやらに歌陣 てその後懲許もなく、同郷この時だと云はれる、そし が「稲有の節状」として完

の光難たる金谷範二の後を 低式後吐露した所窓の冒頭にれば昭和六年春、隆相説 認めて決して見逃さない

であるがこれが人間南次郎 のが直配の裏門から軍司令

か折倒した場何考へついた と系統、資料国側と変更をませれ」 維作、無質者は南大將の属 午込の兄の家へ向つた、 と随り立つとな

六島戦長時代には劇場的歌え長時代には劇事的、一番戦日時代には刺りの歌を見いる特別大阪書、参灣をになる特別大阪書、参灣をになる特別大阪書、参灣をはいる。 事物、大配應が概たはるの式即大將の致る處感ず重大 支那就電電部令官時代には原写法 西治外法徹底脈凹と、南には日南部所共同委員の記 洲事極、関東軍司令官時代臣時代には我國末曾有の福 は騎兵攝典の大敗正、

透飆幸氏右か念子陸三氏)

天地支黄

下了

一番困つたのは

身邊に對する警戒

思へば苦にもなるまい』でだが浴に「之が盛り間だと る、鑑つて結果もいゝし、だ若社の餘裕を以て片附け伊 言るものだから、いつでも から金々長閑にもなり得る

結局は災害の範囲を設于程度に風水器の院止などといつても

たく笑つた。

「ほゝ」」、怖いかえ。あれはみ | 手の扉は部かに弱けられた。と同

本日朝夕刊十六頁。一点総ちゃ。十、二十、三十、何十一

なりとして、泣く子と地頭と天

には一目おいてあきらめる を天に持つていつて、天なり命

明年四月 も施行さる 目から

財務局長談の形式で發表

計算書及國有財產增减二、國有財產增减 現在額總計算書

既報、國有財産出は去る十五日勅

争公以つて公布され無よ明春四月

日より励行されることとなつた

從來朝鮮の國有財産は朝鮮自然

有財産資理規則に基いて處理され

一般局接は鉄路の形式を以つて左

施行に就て 國有財産法の

林財務局長談

大阪大臣が總括することとなつ内地に於ては図有財産の事務は

國有財産に開

朝鮮でも積極的に

國策に乘出

殖産局が重要會議開催

田来なかつたのであります、然 が高の自録を十年毎に作成した のでありますが、他の報告書庫 は残有地差が表現にしてぼります。 深して護何の関右財産の始近、 来す、支履有財産の銀額が護何 なるやも一見明確にすることが なるやも一見明確にすることが なるやも一見明確にすることが

各年に於ける現在總額及增級總額に於ける國有財産を通じて

とが出來ることとな

の行魔を売め配々意見の交換を行。但 右折電部大臣を除く各大臣との間 相が電部大臣を除し、 首相 相が電部大臣を除くる大臣との間 既・国演決定の事則工作として蔵『二三文官のの法を行った。 翰長鐵相を訪問

【東京電話】版田首相は十七日馬

首相より要望

道館計の一般館計製人間郷につき一面工作を要型した一部過乏評細報告し、今後の取扱に「豊地へ関連状だとつき三長官の銅像に続出り添りを翻取し件せて悠い「豊地へ関連状だとつき三長官の銅像に対している。

ありますが、正常学師を耐んでの資質を求めて行ふのが関連でない。ことが出来の直定は共の翻接地の所有を界の直覚は共の翻接地の所有をのが関連である。 境界の査定

当一十五日より時沿が胚にて週末 廣田首相歸京 【東京

中間九時五十分解京した。

背配)接接のため十七日氏(諸島前長)▲趙甫傑

や。そなたの心ひとつで、何違へ一つてしまつた。

冷たい手が、再びぐつと住舌を | ございます。 命ばかりはお助け下

「この節穴から、中を纏いて見」いつた通り、ことは地歌接梁の腓 へしてゐれば、そなたはこの上も らはのいふことを聞いて楽道にさ 一部れることは何もないぞえ。 わ 「どうぞお数し下さいませっ」 逃ぜうと思ってゐるのおや。今もなら、どのやうにでも可愛がつて

得がたいものと見える

時には緊若にすら化する

「は、はいり

中川を存ないばかりではなく

だから運命設者は最後のシリ

なかつた。縦は引り取るやうに冷 「はい、かしこまりました。」別き吊つて、なんとしても繋が出 署。 産業道の扉を開けや。」れてしまつたのだつた。――唯が 「おゝ、よういふた。――では続 くの節 穴の上 を掘つた。 しかも 正吉の左の戯は怖々ながら、近 られた犬のやうに、鰹の足許に倒 仕ります。」 それと同時に庄吉は、突然頭を優しすれば、ど、どのやうなことでも くのちゃぞえ。」 の心かとつで、扉はどちらでも聞 れ道、右へなと左へなと、そなた

首相を訪問 個別折衝の經過報告

馬塲藏相け

作につき報告を受け今後の方針に提案相と辞史、国策決定の事町工 ついて協議し跳事に待後中の時間

な家がして、黙はずほつと深い温 を送るのがよいか、さ、あたとけに、何やら数はれたやう 繁と花のやうな、きらび

| 鍛と花のやうな、きらびやかな日 配へ投げ込まれるのがよいか、 そ られぞえるしどうちゃのあの事 のやうな運命に落ちて行かねばな

でたらく一般の手を頼りに歩いて

前に差して来るのを知った。今ま

面穴から洩れたやうな光が、壁の かと思はれる時分、配言は急に一般と二丁あまりも眺の中を歩い

赛(子)

けば、そなたとても同じこと 人のるであらう。わらはの意には

息に身を顫はせた。が、それは陽

の光ではなくて、この地の底のい

「灯であつた。 「何人願へることはない。 せなた

やはり暗の中からの蛇の聲だつ から現れたのか、先別の歌内にす

った小姓が一人、鍵の前に慇懃に 郷のこの言葉が終つた時、何處

五、經過規定

\$0.0000g

しは流が高着いたで

「お娯探、もはや首柄役もまるり

まして、思感は器ひましてござい

は、はいり

『思いところへ連れて行くのでは』

新舊總督の 事務引繼

等に就いて半島の存在半直版第2 これに動する数 れが工業化の具體観方法に載き本 | 館域を問題した 対域難局では十七百年即九時、実

この燃料画衆に到する具態的で

れに對する領域に既い、重要な

引機ぎをなす筈である

明鮮の特殊事情に鑑みまし、貸付

度民衆の交通も比絶され

|迷惑で 大將にはこれが堪まら いえ、やめる謎には行止めて臭れ」

織つて黒足器、駒下駄と云

「そなたに、よい物を見せて過せ」ましても、手間はあなた際の、御 いまし。どのやうなことがござい 「もしお姚様、どうかお助け下さ

なたさへわらはの話のまゝになる ▲、夢明の中にぢつと經の謎を記出言はさらいつて学を合せたま 一意に反きはいたしませね。後生で 「助ける、助け収扱ではない。そ



側面工作

保 完二作 世

五七人七四製七か四ケ十五十五五型五型五型金銭銭銭銭銭銭銭銭銭銭銭銭銭 直接器三十五劫 **神買求めの節には必ず**

+

店薬品部にあり

経済的に登邦します なく敬細で殺虫効力を なく敬細で殺虫効力を 変更がすいない

から来たものでも一度泊つから来たものでも、よそから至た手配

然職には攻撃の滅声がない で矢蓋早に飛行機や民族院 懸させた路、果

は、腕が急に攻撃に出ようった、虚が南師魔長として

い親令をかけたのは多分階

大將が一人だらう、あとで 響彦大將も居た大將が大將 長で陸相よりも古巻の吉田 た 即も自分より 古意の大将

れた人の中には、 技術本部

出るものと戦闘したのであ

会校生徒の敬意の的となっ

常な温情味と几帳面さを持

こんな一面に南大路は非

る。だから常に助かだ の選世機の機幹をなしてゐ

つ、土質製役長時代はあの

いた南大將が、一番困惑し大使に親権されて新京に奢

關東東司令官乘駐衛全部

と愛馬に跨つて通動

たのは身遷に到する難形

退してからは、鮭日ノンビ

くと部かな日を送つて來た

としての賞を引き観賞に引

・二六事代に陸軍長老

處が休めの競争を掛けら

としては機能な敵が攻勢に の命令を受けた、軍司令部

承けて参謀突長に飛躍した

ガナつた、にも動らず、こ酒を観け駅線江頭を盛んに のクリスチャン夫婦は今で 「南隅下々々々」と慢

健軍大臣に製化された登 陸軍大臣の隷下にある各、陸軍省の高等官全部巡

十五版四分一(藤明二分五十秒四) 一支に出出した我が指権大尉は戦略を

| 分二十三約プラット | さらばベルリン、さらば世界の若|| 一分二十八秒回|| 謎の腺ひ出だ、大顫は終つたのだ|| 一分二十八秒回|| 正を勝俊殿がガッチリ手を挪つて (ハンガリモ)人動 | 手と勝俊殿がガッチリ手を挪つて

【ベルリン、オリムピフク、スタ 大暗碍個人戰

二分二十四秒二

四點

消えんとする殺那まで数千の小日

章城と日本色型かな哲学、哲学・

復舊急ぐ

醴泉、安東間は見込み立たず

職が職員は技権の一致では、高東の職が職員は技権の一致では、一般の一般が職員が及び實際者の職人を批

奥の質問を置き温ぜ出したので、

れも十七日から明通した

に一大ショックを興へてゐる、四 権工」と大撃で呼びたてたので、其時首に適したる快事として郷納、ころだ、つものさんは「泥骸」泥を上中であるが、今回の紫嶽は鹿則「保金鰯を鍛んで声口へ出て来たと走中であるが、今回の紫嶽は鹿り

岡叩州コロムビヤ大學卒業、月下 |

人型足で追跡「泥庫」泥線」」の

一戦に慌て、逃げ出した、つもるさ一氏衆、城大附屬衛院小川外科へ現一番ではなく、内部の者の犯行と現

犯人捕はる

餘罪追及中

院小使馬奉山(光)——他名

全般天氣發報

迎行と軸つて椒漿した、同量説で み殿里提査の結果、十七旦朝同園

はさきに岩井内村で顕微鏡の松鰈

事物が起り、服人未搬好の折幌とをはじめ今春以来翻々として勘飯

の至南東方

9月新譜

有 右記

(番目に出現、臨時四個を客し 優勝者として財養された西。は三浪戦、巡永間は海里石が破水(沈たず、勝金環として遊戯神師の「れっ十七日から明通した子九姫三五と財募された、「南鮮地方籐貫不通のその後の脱鰈」は披背帯大で、苦分復居の見込み」ら兵器が終まで、原肚綵は全線何子

連絡構造を用始する独定である。 成水を計つて十九月頃から自動車 立たず、側急戦として指統河川の

李憲寧氏の美皋

ンを御橋の上、正午出館、海上飛行を開け大連まで飛行し、十八日大連、チチハル間一千キロの驟町以下八条採集、タチオ・コンパスを利用して一路批議に上つたが、太万湖に午町十一時半時餐ガソリー

度八粒低一七度 (七七) E中 京城温度 (十六日) 最高廿八

平 崩 間 間 付件 午午 後期 透動

(18 「所澤田苗」所称、チチハル間且湖連絡航法は、十七日午前五時学符號を認つ新収金機四機に辻大島

公排帳所澤を出發

を一個に飛ぶ難定である

十一時過ぎ京城院外担端・阿奈派国産草屋李典烈氏方 碧蹄面を騒が

八月二十日午後四時

京城運動場特設相撲場

學 一 正 面 椅 子 席 生 席 聯盟全朝鮮對抗全關東學生相撲

(日本時間) 同盟智派員最伯林―東京問告紹立済官場で、四番がアンデウェー、五番キーファー、六番品高い、四番がアンデウェー、五番キーファー、六番品高い

で続行、まつ飛込競技があ

大會の最後を飾

《解版後を節る三大陸葛凱水上載』キジビションレースを駆行した。 | 1ヨーロッベ:四分四十二秒| 「八日前盟韓庶員」オリムビック 終つて各様は三位まで入宮香の子 女子四,百米・リレーイ・カイナ四の大 たんりい オリムビックブール | を行い、アジア大陸が大勝した。 | 2アメリカ・九分十二秒五月ペルリン、オリムビックブール | を行い、アジア大陸が大勝した。 | 2アメリカ・九分十二秒五月で 1アジア 遊佐、杉浦 3アジア

いが亜細亞が大捷

約合馬術成績

一坂に偽刑事

日本は六位とな

二十語、個政大尉は威駿三十五點 (時間一分二十三秒) で三十五番

> 彼る大道の昔を最後に、茲に歐幽 **七日午前三時頃京城三坂通り鮮|はせず三坂通りの交衝へ突き出し**

オリムビック 不簡単語にベルリン | 人型対金を掘つて各種競技を見難! 組織を践踏が競技基號は各職の大 | てある「ベルリン十六日同盟」第十一回 | 剪数り数も入れて四百五十萬枚、 | 偏のためベルリン、オリムビック | らない

|山明和通り安永順(ま)と領別、戦||事を触いてゐた、像非取調べ中||で含れん切の疑中、医定して来た||た、取調べると批事とは大態で後||低塵札でバタ屋行繭をしたがら思||で含れん切の疑中、医定して来た

20 西 大路(日本) 计五點四分三 二分四十六秒二 二十五點

五十萬馬克

らやつて來た師して大鶴中の十六 マルク(釈説接尊一千七十萬)と 建りの十五萬人は語と権外部関か、その質り上げ金鶴獣は七百五十萬からのお上りさんが総日五萬人、その例にイフ関内各地、十二百五十人と云ふ獣定となる、一十萬人、その例にイフ関内各地、十二百五十人と云ふ獣定となる。

演習地を続る

器へ突き出してお手腕を立てたことがある

危険・路上の遊戲

件痛は消な































腹痛及以 食あたり

で捕み解消ー で捕み解消ー よけ 襲倒氏昭文谷大 士障學園 リ史 りあ「ンミタ」用原頭は北部派 475 社会式株金天皇・養地版大

水害の美學

最後まで頑張

地元の人達が健康の意識を 許勝 地元の人達が健康の意識を 許勝 地震の意識を 許勝

全國中等程式

御家庭の

內科小兒科

や二呼吸病・胃腸病や二呼吸病・胃腸病

置の腹痛に注意

岐阜商快勝

慰害生液ペトロル

が半島に撤出し、軍部を整設せし 非常時局を反映して国防献金突統

有してゐるが、これがため前智 山美之介氏が最近同演習地の孫 位 の脳軍演習地を続つて二つの胎

四田巡査の留守宅

れ前科八班金相望され、野烈の押さへた、この自北部公は忠南生

を所有する芸質社の土地管理人その二 は同地阻止に土地

めりコニー・ポスウエル

一下后餘

許さいるこの豪華

日本一の信用 日本一の品質

日本一づくめ

申し候時半死去仕候本廣告を以て御近知に代へ時半死去仕候本廣告を以て御近知に代へ

は関をいかるの頭痛薬

高峰臨吉氏發見 力消化器

ある凡ての場合に良效を奏します。消化をすゝめ、食慾を亢進する必以 了一一一近星 (粉末及龍翔各届)

式 ø 祉

夏·哥 三 共 株

あるが殊に公州地方は二百五十

禍水り

農作物の被害百萬圓突破 萬人の運命憂慮さる

素の中に水の犠牲者は簡出した は水、水防器の労力も至く手の下

主任は被害就近場際に来職、午後代、七時から基本原盤で金銭や、土間、選長、田道路、田邊師関局長、李代、別の両長以下有害多数裁解して深

の午後十時頃に至り諸民川逊窟し【公州】十四日午前来の豪雨のた 用屋の本町、旭町は一時に床上に しゃうもない有機となり、この表

総統を堅し被黙面積は全邑内の四

んだが、十三日旭田利川土木管區 分の三、戸数にして三分の一に及 帰川の氾濫に伴ひ邑内は未宣有の 【騷州】連日の豪雨で曹寅江と昭 **矮牲者續出**

の被害百萬圓を突破する見込、沿岸一萬の農家は刻々の増水に恐怖戦慄の 極に達し悲惨窮狀言語に絶するも答通比能のため、これが許後衆も容易に強辱せず人欲、家屋等 『リを派し金川川は稀有の大心蔵を見、遂に九龍平野四千町歩は一面泥海と化し農作物 辞細に接し得す酸原されて居たが十六日卿道壁に強した扶除からの報告によれば同地方の明量は質に三自五十 【大田電話】二位に置る陸雨は十二日夜來既然物でい墨雨と化し道内各地に超過を惹起したが交通比絶の爲め 住の架家族は激流の弾流に恐れ天 の子供二人を置き忘れ途に小屋路 焔は辛うじて逃げたが十歳と七歳

同じく永紫里要品無の底文

0

も行方不明 ・ も行方不明 ・ も行方不明 ・ も行方不明 ・ も行方不明 ・ は一郎となり無建の歴化。本町 ・ 本町 ・ 田藤世ですることに決定、直ち では一郎となり無建の歴化。本町 ・ 工 田藤世ですることに決定、直ち でも育老数(も)があり李芝建文氏。結果、昭煕川忠院は認工費一 匹三 の下敷となり無建の歴化。本町 ・ 工 田藤世ですることに決定、直ち でも育老数(も)が高り李芝建文氏。

郷土の譽れを兒童の心に反映

走る新義州の異景

十六日迄に判明した

島流し同様であり八月中の市日も市は落とたよれ有様で農家は勿診一般商児にも一大打解を競り製度さ 6他し続く土三日朋通した各交通機關は僅か半日にして再び杜絶した、唐津は恰も【慶刊 十四日の時間は午後に至りまたもや劉甫となり各師川迦蔵音楽里、趙粛黒、九副皇方面は一面の泥海

駅の倒潰、橋梁の破損、家屋の登

母子三名闇の濁流に呑まれ

列山は不通、各路線も再び交通社 造二十六ヶ所、修理を要するもの

一ヶ所に及び十五日朝から遠に

の細え清州局では悪急駆送方法器

の交通性能と共に電柱範囲、常線

【金州】今回の道内の水害は損害 | 日までは道脇に思する各地の報告 | い土地損害に大きな侵害を被つて

家の倒潰流失等約二千戸

にもマラソン熱を漏り低層低戦、マラソン調定よりが思いやられてラソン主産極帯とともにいやが上、を白熱化するものとその時の狂的

方より出火、同人住宅一棟、物

力を牢握して午前三時半蹴火した

山郡北湖面湖涧一六八八二高河

第の住んである新義州は旅君のマーを夢見ていやが上にもマラソン階 gに至つたが、一般岩の出身地であ | 英雄兒の姿を目のあたりに見てマ

りしかも現在時内補助洞に母や兄ーラソン熱を煽り新義州は第一の孫

回胞のマラソン姿を街上に避見す

なるマラソン酷となり首都京城は「ラソン荘の街と化してある有様で

・ふに及げず半部合節市で研解人 ある、孫選手は跳旋後郷土を訪問

うることは必至であるから、この

のところ十四日谷十四宛の科料に 脚籠を使用して五點當り二銭宛の

諸博行ひ、尚州著に留道取職べ中 番で折柄の豪雨を犯し、カーク曲

『覇君田現は腰系中島同胞の嫌怨。鄧の穀が黙蔽され瀬巌州は宛然~「驟霞を使用して五黥富り二銭気を鑑として祭誓したマラソン主張。はずあちらにもこちらにも走る鬼。帝で折幌の颛明を歌し、カー々〔新慶州〕世界が持つたゞ一人の「て献上といはず、饗夜の紋聴とい〕五名は去る十一、二兩日間同日

朝鮮人兄童がサルマター校になつ一ある

居直り堀盗

主人を殺害

在り金奪つて逃走

二日目に逮捕さる

| 職な数字をあげ得す、日時の經過 | 密敷も物理しつとあるが金知事は

正午現在各地の被害は概略次の通一在の被集調査材料を集め、阿部地

と其に報明するであららが十六日 も出摘はず、登殿の被害はまだ適

地からの報告、視察は徒歩或は自 明論の寫述信玉不能に陥り、被害

|三隻に達し四重物の被害は比較形||西岸|| 帶の跳地三千町形は二尺万 軽微であつた 山崩れで五名壓死

ある。一部交通社能したほか家

[温度] 牙山郡田橋川辺蔵のため

避難民下痢續出

三浪津に百廿餘名 増加の兆で大警戒

忠北線不通

に野者した被除報告は、死が十一 **も即死した、十五日午送三時道**

当地が出すと間もなく足器を失い **児とゝもに濁迹に吞まれて行方** 職後を山の手方面に向ふべく家 朴明楠の悪女は二見を連れ

米だ没水碱退の模様がないため至

版公園に山崩れがあり五名下職と「下省局の手によつて着本物部の結」座の光があるので観閲されてある不明となつた。 なは十五日機襲山 【季山】三浪礁の洪水龍炭鼠は目 | 正子迄に百世名除の堪義となり歌]

激が、子人自四土二片、船鰕遊集)・破が悠かの清敷中である、十六日 (道路決議)・小河川脇駅の決議・上、協五十六片、周年婦大十七片、周 (に猛然な下)駅協総議が破緩・衛生 時間に重る気間により流州市中は各、資徳三名 家願重集十片、高金 (しく悪難を践けてゐるが、実際地 (しょぎ) 十四日午後五座眺から五

十月の浸水家屋を出し避

らんとした理那、機の決造箇所か

疲れを感す暇もなく十六日は日曜 慰戒を練つたが、各議院とも、

「安、任實方面は既に総用能しく数」▼驅逐に変り出すことになり來る。 とも被既都大であるが上流たる誠」し応渡した道衛生認では能デスト (全州)今回の水既は三総会飛が、ることが公路の最節によって帳囲

る十四日夜の鷲雨のため物後い歌 「浦州」十八年來の異態といはれ 忠北にも續出

三二二部

全州鄉軍活動

緊急全州府會開く

「金州」総背野城と製造に含つた「加亜里五〇筆は直来城慢(ご万へ)たこと等から単進顕大と耳里を付っています。 (金州) 総背野城と製造に含つた「加亜里五〇筆は直来城慢(ご万へ)たこと等から単進顕大と耳里を付っています。

の統党署域に連捕された。取關で

ようとしてゐるところを巡察

ルンペン泥棒

毛虫・あぶら虫等

忽ち全滅!

2

りあに店栗國全 (函赤)用虫京南 りあ粉取郷ツマイ

陸郡安城而月林里、金甲洙のチョ

度店朴性道方に雙入、戯鸌中の鹹

殺さ蠅

インジ 蠅取粉で

●蚤・南京虫・家ダニ

犬猫牛馬、家禽の 蟻・あぶら虫・うじ

強、虱・ダニ・羽虫

折柄の緑原雨を奇貨に曙町飲

| 統一 全南海岸山湖岸面南部

加頭里五〇雄段商宗颖殿(ど方へ)たこと等から即金朝大と目星を付加頭里五〇雄段商宗教殿(ど方へ)たこと等から即金朝大と目星を行して、

【全州】全州府では未曾有の水客」といふことに一決した 見舞はれ十四日夜より十五日記 差當り義捐金募集

職會議論で非常緊急所會を招換し一般代會を開催して流街金等地に転 日にもかゝはらず午前九時から府一た夜府殿館議記で引きつゞき町館 動である動である。

金全北知事

の方針に書き十六日の府郡を終つ 【全州】全州府では水電馬軍府曾

意外にも定説破り三郡に進出

マ潜在

平南で驅逐策考究

日午後六時頃天同郡林原面龍與自轉車 泥棒 【工職】十

るものとされてもたところ展立にては作川、中和の南地方のみにあ 【平選】古来より平南の賦ポスト

配の三地方に送つて設定な喀漠線」の筆鉄度数が押入り家人を悉く後十九日から二十八日まで談覧を明一外大西蘭増売署公太號店に六人組 郡は瀬川、殷山の二ヶ面、平戚郡足、秋乙美、金祭の三ヶ面、郷川 査を實施することになったが、同一手にして現金人百八個と衣頭母金

緊張、犯人最柔中

マキ、メ强く、永もちのする點で

まるて皮造ひ

高に安心して使用できる。 ひ、喰べても毒でないから

イジは盗に侵る 一劑と比べ

元の職場を荒す

市日のお客や蹴珠選手が苦悶

ご丁寧な中毒事件

費金駅製門の閉鎖容疑犯人として | 内で費金駅拠金を製門に二十五萬章(T) | 同金融伊(T) にか二名を | で現金自三十国を訪取したほか! 型査中であつたが十四日午後 二時 | 圓数十件の窃盗を願いた事覧

人上本町、蜂科 专選 化墨研究所

二千五百圓も稼ぐ

買ふ必要は

非常に経済的。

油劑粉

(辞願は商品添附)

背が

イマツの容器はその種・摘粉器の用を イマツはさこで使っても絶對に安全。液体は引火し火事を起す心配はあるが

釜山署で一綱打盡

全州の水害風景

會員(下)武徳殿に避難した雅災民(+五日銀)(上)各町内の牧恤品配給に出動する在郷軍人分

奉天、安岳に

ちる十二日の順安

水害對策

牧済事業に 堤防を築造

災害のため無難診療を開始した

全州」道立至州病院では水が極

寒州郡下の被害

不半隨身

風も僅か廿日で

爆弾的な新學說

取粉の今津佛理博士に依つて

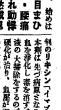
因は循煙草

以上の結論から 所謂「血液の

叉中風で 優む人でもリキシン脳溢血・中風を躁防する。 つて前配の症狀が一

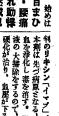


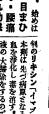
循環が 悪い露起る。 始めは 操する血液の大掃除療

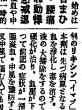


本別は先づ病原でなる。別別 本別は先づ病原でなる。別ち血 液の浄化し薬を消す。即ち血 液の大掃除をするので、別別

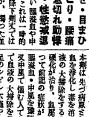












|所引取

/式株灰大

算 期

取 短

31 期

代表電

な固等

ijijij

四日

橋今區東市阪大

)D

現

物

胃

餐岩

業井

鹽楽時

星內報

器

意大貝のア

面白いはぎヨクチのとこうといの水塩

タカ山の『るいれき専門薬』評判の高い『内服良剤』

高值

壓

--中蘇九原大 元寶麗

百パーセン

静肥

名園藝材料店

一報次都說明書進呈

2000年 田宮商店

瘡

中風。豫院

公社

新時代の義歯は

京東。阪大

社會名合屬金科曲金三

一曲義

イキニニテ ルヤローイン ローブン

道工定指省軍海 所 額 製 村 笹 五曜政府區西市版大

を誇る菓子界の權威永き歴史ご優秀の品質

数文 XX 社會式採藥製圖久佐

EI

繊維/新興商品

| 聲

パーチ 縁 人 各 独上重流機/ダヤフト用

副業 ヘガキにて御照曾あり次第 製袋の 栞 急送します

"紙袋製造

個十五百金 ノアビッ 型計延加金 台 空間八廿金 ンガルオ 京 樂器 **地光化門五七七**

量 O 表記 变代的化游戏

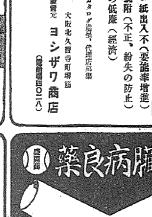
短型であり交機械站

業

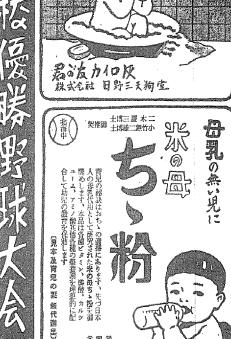
せが

連續番號附(不正。紛失の防止) カーボン紙出入不へ要能率雪道 印刷費の低廉(經濟) ヨシザワ

傳票界の大革命



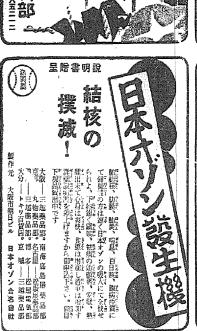
キで御申込あれ委しい楽の説明書を門の良薬あり色々迷はず今すぐ ヘガ苦しくお困りの方に絶對副作用なき専苦しくお困りの方に絶對副作用なき専少しの事に動縁高より息切がして呼吸 親切な養生法を無代進呈す 職 悸 腫 性 亢 群 内 、阪市北區都島橋西詰 **喘速膜膜** 息症症炎 0000 心心肥狭 築 囊筋大心 品部 类炎症症





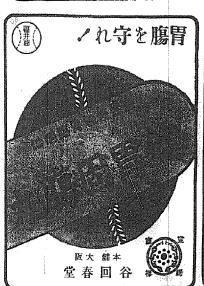
元 寶 諲 店商要本由意

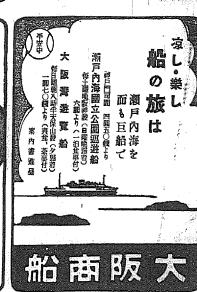














四、優勝したる學校名を投票したる方を敷の時は抽鯨に依り二、投票師切入月十八日(十八日附祖印の有るものは有効)二、知明師切入月十八日(十八日附祖印の有るものは有効) **予大僧出場代表二十二校の内何校が優勝するか、優勝士** の原告を見たる新聞名を配入の上へガキにて御

勝

Ŧ

3

h

9

等 禁 クローム側腕時計 ホオ 11, 'n 和京青昌吳松亦鹿仁嘉齊

歌 医英取港山 含兒川 養島 山 前 節 節 一 中 酉 工 面 酉 慶 中



断然光ろ

このマーク この番湯

半路の日遊ひを與へて、日中を過 かやらなものは世賢のやらな

させる様にしたいのです、從つて一ちすれば、水け十分にしみ込んで、

がありますが、緑の下孔から水が しみ出る位にするのが本路で、さ

梅、松、柘楠、櫻、銀杏等は十一物能主人談)部分は十分行はねばなりません 中を避けるべきで、花木類の外大

た。花瓣類

降りつ

\$

で

新雄代謝 年は長の韓間で並が徒長して問 間は潤み八月の災暑に入ると花も ばいで弱

『り起いた明も上がり、触と乾燥』乾燥が超だしいので、瀰水を十分 | 炎血の間まるのを洗き

乾燥と灌水につい

から手入

一部だしくなりませらい気い雨の一にし、交風通しをよくします。縁

地上一尺位の處から難を切つて置 から一番花の様な立 雨の降りさらな最大を見記らつ

か」らないわけである疑、選が生 乾かされる、つまり映寫出來るや **肺乾燥装置の中でたつた八分間でか二分。 現像されたフイルムは特** た別員だけを見るやうにされてる けを左眼では左のカメラで割され

く、たつた二分間で完全な取除が

片目々々でのぞく る、この映写機はまた龍山原映

この撮影機では各駒の露出時間 を削増なき成果なのであ

が僅か千分の一秒で一秒間に自駒 スロモー映寫

されてゐてピストルが鳴ると同一うしても避け、都られない寒、僻跡を概だスタートピストルと聯動、ねばならなかつたがこゝでは、どの記すやうになつてゐる。この「ねばならなかつたがこゝでは、どのアイルムには正確な勝計時間一」方が赤で一方が緑の腹鏡をかけ

は經過時間を記録し、

使用されるフィルムはこのため にかけ、砂糖と酷が溶けましたら 動に時间と変数、點を入れて火

から流け計をらつきように被る場 入れて蓋をし、そのまゝ冷所に へて置きますと一盟間目配から食 紙に前のらつきようを入れて上

別 イルムが生版されてるたが、 用されてるたければならない。 用されてるて後指は四道の操作が 行はれるためには特別な乳部が利 らつきようの浮漬 れ、決勝の有様を後世の 上下に併置された

あり、保護力に於てもずつと侵む

と、双兵衛は、寒もなげに笑ひ が浪人したゝめに五萬石に昇紅 したのみで、すぐ五萬石に抱へ と言つたが、盛か五六ヶ日浪

これから茶店に残しておいた

要を卸してその汁をつけるとすぐ アを収るとかゆいのが止りますが

『それには、仔細があるが、只今

▽自製シロップ△

である。酒でも馳走して臭れい

もし手近かにそれがなかつたら生

南京虫に刺されたら、エンモニ

デアハハ

と、言ふと、

▽南京虫に刺△

後職の豪來には、際山の蘇陽が

よし、それ にて召 抱へる であら 越中守は売組として、 五萬行を望むか、よし、

山田幸右衛門、其他の着も何所へ

引己ノ設備有り晋通病室及隔離 京城府西小



7快爽

/快爽

新知の五萬石

数に通された。帯してるた太刀は一 交兵衛は、北八郎の殿内で襲座 でどうじやり双兵衛。 西抱へてゆ 深刻が終るを待つて、 Œ

ひ、ソッと刀架けにあるのを見る らよいか』 **ボ刀を持つ てゐる であ らうと第一** スルと、子八郎の家来が、後殿 『孫に思みあらる。何程道は と言ふ。ソコで、越中守が、

契兵衛と聞いて盛いたが、どんな

ざしましたが、御雷家の郷村は 一川 原においては、三面石で と、訊くと、交兵衛、

長光の大太刀、稲は朱疸、

五萬石の町打がこざりませら しむ者はなかつたと言ふから蔵 だけに是褶の事を言っても膨ら性 と、言つたが、押しの強い人物

家來も、遂行は交兵衛基次と窓心

浪人しても三萬石の大身であつ

でどうした?後壁、その後は、打

所で、主答差同ひとなると、

綿綿

中野米國理学: 一百圓の利 外キの薬リコッニてつき

第億305mm 大湖南BLAR B城 小林大祭房 9

其語です! サツトで辿りタムシデンキのキ、メーマ級にヨクキターではる音楽は一度では一度ではったから承に 激伏菌をも殺菌し且 小林大 築房 下の 型位 20 30 50 1,20

害儿 LEAD LEE 小林 法度達派化港沒

たまらぬ湿かゆい!!

(說明書無代進号 IJ

研究 所

3

中央化學工業

に含まれてゐるので、榮挺上重く













の水を汲み、その中へ茶匙にかる 出入りをする際、まづ洗面器半杯 れを財団するには、さらいよ国へ いやな思ひをするものですが、こ

「杯の風と、少量の石殿とを加

篩へ闘を入れて歩くと相

山へ野っ時に足扱の

くと、それこそ問題に異にさされ

交まめも比較的出来ません、歌 ことがないとしはれてるます、 當な過道をしても一向度れる

加へたものですから、自宅で果物

才八郎はど らかし て交兵 衛を翻

と、これから酒気になる。所で

の色素へ要品で味をつけ、香料を

根本的に及びもつかぬものです。「で、密かに家來を遺はして城内にを煮てつくる本営のシロップには「川家に仕官させた」と思ひ、ソコ

ばきの人は 陛下の中にふり

まいておはきになるとよ

硬したものは自然のまま赤いシロ 大連院をよく洗つて皮のまま煮て

ったので、若八郎は喜び、直に馬

に城内へ召連れよと言ふ沙汰があ

スルト、越中守忠興から、直ぐ

▽西瓜の皮△

てよくかきまぜ、それを手足な





の豊に闘や手足をさゝれ、廊かつ 夏山野を歩いたり、野菜や草花の

漬けて置くととても風味のいゝ味一のです、わら布置より柔らかみが、噌に漬けたものを引上げて味噌に 布置に入れると質に工合のよいも

事大総結構にはべられます、**藤味** 茗荷の子がと一所に切り澄にして ます、これは捨てずに糠昧噌の中

ですが、その刈りこんだ芝を天日

利用として上来の策です

しますが、勿能ない事です、

芝生はもよい~~刈りこむもの

▽刈った芝△

てゐます。西通上く焼き捨てたり

に入れて適けるとか、加手、胡瓜

かゆかつたり、腫れたりで

入れをしたりする時には、色々

▽野外散歩△

家庭重寳記

蛋白質は即つて多量に含まれてる | 野田けが出来ます







折くの如く誤戦の公正の為にそ

方の温度器は一つのフィルムが流

いで現像が始められる。この間値一な偏光フィルターが推せられる。

る時間まで活動を置けるでもにた。が利用され、宜倉人は偏光フィル

|ター・ヘロタールで出来た眼鏡を|悪い時でもなほ子分の一の窓出で

映賞機のレンズにも同様。事足りる様に極度な見

に同時的影動裝置によって結ばれ

標過で貼むられてゐるかを判り場 の正置な機能を活動でせてみる活

整された鈴木にかいつた、鈴木一時間異様はどんな信道で、

と来る。符党の当時は途に敗れた 所くの如く

もマククフィーに全く観一重の差

米像達の生々しい實況放送がベルーラギオの削に到づけにされた、百一

る二日午後十一時日本國民の耳は 伯林オリムビック開始の日、去 **最後の望み鈴木!**

の結果が現法されて、鈴木は驚くやがて二分間後に活動思真の現象

一般判徴の上に、一緒に並んで置か

二つの寫眞微 、離には独物数がある、この

現像映寫まで十分

て走者がゴール・テープを切

ことにしてある。そこで個光光線 とを怖れてこの眼鏡を使用しない

微妙な接戦であつた も何れが三者か判定が出来の程の 機械は人間より正確

今度のオリムビックで使用された

實體活動寫眞の話

中學生の

讀物

规

TRADE MARK

劑製任責局藥堂大盛橋高

本劑は最も有效にして高貴なる植物及極になる心臓衰弱、治炎の綜合效果を發揮す。而してよる心臓衰弱、治炎の綜合效果を發揮する心による心臓衰弱、治炎の綜合效果を發揮する心臓疾患に用ひて絶對に何等の副作用なく實に適確なる速效を發揮する而とは場疾患に用ひて絶對に何等の副作用なく實に適確なる速效を發揮するの賞讃こ推獎を受くる所以なり。

古(8 等)宮井茂吉先生實驗推奨士(8 5 年)上村、雄先生實驗推奨士(8 5 年)上村、雄先生實驗推奨士(8 5 年) 松尾 勇先生實驗推奨

確信を以て推奨する所以 偉大なるアポセ フの效果

な主の 本 す。等の如きは一回の服用にて顕靜的脳貧血、動悸、息切、疲勞 力を呈す。 し微弱に陥れる脈搏も直に活一回 乃至二回の内服にて奏效凡ての疾患による 心臓衰弱は 凡ての疾患による心臓衰弱

●チフス、赤痢はエ●強痢、腸炎は二●強痢、腸炎は二・臓性はエ 五三二五五日乃乃至三十日日日乃万至三十日日日日

譮

3

性 傷 疾 患

挫

Ė

動手・息切・騒音血・出産前後の変異ない。 企業性素息・心臓性素・心臓性素・心臓性素

症

果效

も是非歴用されたし

藥 價

(小兒約二日分)全五四八十錢 小兒約五日分)全五四八十錢 (小兒約五日分)全五四八十錢

全國百貨店に販賣す

らず故に一度本劑を應用せば何人⑥其效力は安價なる類似藥の比にあ も必ず其の眞價を賞讚せらるべし。

薬劑のみを數種配合す。

APOSAFE

菊名 干

堂

飯町

佐久間藥局

町田山春堂 大黑南海堂 藤田 藥 舗

森川回天堂 本村 葉房

北島樂

岩田巴商會

北島

房

水儿

ン絵内服救急藥

注射同樣

の速效ある

藥房

朝鮮主なる代理店

戲高橋盛大堂

海州國發質元 新聞 日本賣樂會社 木 藥 店

展市公園等 医市内型等 医市内型等 医市内型等 医市日本糖基本町 工程合名 會社 工程合名 會社

藤田樂舗並所

藤田柴舗。所

吉田石見屋



先立つてかにの途につくが、出郷に際しステートメントを趣業する(葛眞は蛇砂鶏 脳巣砂引層出腺所において今井田削縄賦より事砂の引羅を受け職を打合せを行つた、來る十九日帰縄質に

登録以に関し所別が称詞策数だる。 七日記数繁理を終ったので大脳合

一初め各種石地町一に提出した町して四年度摩須醤油

政務總監事務引繼

大野頸節政務認証は十五日午前九時總質府東京

で内有数要求額合計。于上自七十

一巻に属する人々が頼もしくなり、

交優しくなった。これが馬揚人事

らず能り簡単し続批を示してありなりである。正常な経験にも拘っ

がいる。

年のこここ

一見歳少してる

副食局還りの新官僚が難ひになつ

極向が生すると共に西路附既の陣 制度論へ走らざるを得ない、茲に 出来ず、歳入先決主義と赤字公司 **風影振振跳かで安心して居る事は** の質勢に打つかつて見ると、

が年に八百乃至九百リラかいる御配弁となり一人常りの養育い

○▲蓋し私生児の半敷は政府の

てゐる有様であ の信年を一 は云へずる

便

藤省に摂出することになったが、一つてある を決定、諸数整理の上二十月歌大」し三千四百七十條英間の増加とな

馬塲人事が

轉換した原因 高橋財政の陣營に愿する 人々が報母しくなる

八萬国でこれを本年に比較すれば 一千三百六十四萬回の増加を示し

は十七日前く計数整理を終くることになった、而して新量順力 で同日水野神目の決哉を経て「質計費及び航空隊地震計畫の初年

関防の安国を期すべき新館船売買「使国を五ケ年線」の事業として武士 会計 を呼ぶ のではなりる関係がに対域して「及び航空球事談に受する経費数十 の時部 のではなりる関係がに対域して「及び航空球事談に受する経費数十 の時部

國防充質はなづ五ヶ年計畫

大陸省に提出した、近年の新國院「庶分を含む四年度提來養真に発出た實施」は一般に提出した、近年の新國院「庶分を含む四年度提來養真に発出た實施」と

して消散されたが國家院歌の現狀力質能逃は最初十ケ年濃四事業と

、極みで折半し先づ緊急を要する一三眼四千萬個となつてゐる

正明· 2 是四世三千萬國有忠學末額

軍部と國策

必すしも即時實行せずこも 進路を明示すべし

公殿省~提出

「果果電話」2時間の関係が高く関連と と電影が思との開催が高く関連と なりつくあるが、大量重都の度度 なりつくあるが、大量重都の度度 なりつくあるが、大量重都の度度 なりつくあるが、大量重都の度度 をが能つたから、それは重要 れ 「最大度はを見積つてを実けの 取 は感覚したでも、これは重要 れ は意味をなさない。これは重要 れ は意味をなさない。これは重要 れ

取引所事性であわや存命かと思は一般立では非常に認かなものとなり

れた小既元國総職長も製貿局戦出一首尾よく高等居一等に界地して、

ら造骸局長にしてもらひ、今度は「國交調撃」の悲調たるべき北支の

より北支援勢について贈取し日支

何等の御咎めもなく、切つて登録 | と重んで居るとか、省外に於てる | 上につき左の如く離る

斬つてまくつた馬温藍相の人事も

動つてまくつた葛邁藍樹の人事も | されて ると か、プロック 此の雄 | をも加へて韓族をたし田代司宣誓 【東京電話】配住賞初賞るを奉ひ | 橿成には蛇野な人(物とあつて)原選 | 令官を實際に訪問し駐出軍の等時

川越大使は午後三時田代駐屯軍司

その人口に関す

九から六・六 湖州七方庫

「天津十七百回盟」 今朝条池した 川越大使語る

入間野元の時部級長は報質局部長かされてるとか、プロック 底の雄

を短縮

馬塲藏相、廣田首相と協議

(一)図防の充質(二)増税を含む紀創改革(三)産業貿易の一般誕生資悪につき協議を発けたお協議の結果重要國家の配目は 即用地域相と簡別市型関策の決定に関する最高方針及び今後

に関する人心を定を期して内の帰院の可以関節の項目設飾を急ぐには、永野市坦の政権が衝け右堤出後に持ち越し取取す事芸園策 ||態については陸軍側の豫算体が特別が未提出の25円域組と寺内 についても首相、戯相の意見は完全に一致した、心して國防党

要国策の項目決定はあくまで開議中心主義に則り問議におし左の方法により共能的副語を進めることになつた



長官の審議結果を可及的最近の閉識に提出し魔策項目の決定を、狙節を除く各省提出の電雙層策に對する馬環鐵程及び内閣三

歐に對しても各版的の自動的善處方を感覚する哲である、かくて 大項目に置きたき記述へ、既めて隔離中合せとなし所割関策の設け入日の開心路上圏理の節向を述べ物に重要関策に膨目を期間四 内政に闘する重要国策の胎所はこれを以て第二の段階に入り項目 たけの決定は徴外急速に遡徙するのではないかと見られるに至つ 「東の客申方を消職してゐるが、内」經事項に屬する職館と、少くとも「飲を組織し選繫法略正に職する選」然に選続法の配正は機能認の領許の整正は概定はの配正は機能認の領許となると提出する方針で、選城職度調立「日臨を達することは不可能である」

朝鮮關係名士を

るととなつた、戦情省局としては、公徳に附されたがストロパウロフ(ほより公電があつた、外弥省は十るべく早い機能に調査師に提出す。スク謝近のタリアン蔵に經過され、に拡致して職職した副令は權太良院機事局合作の改正案を作成、な一名の下に享加されて小ロパウロフ(原を纏えたのを解験ゲベウは直ち院機事局を作の改正案を作成、な一名の下に享加されて小ロパウロフ(原を纏えたのを解験ゲベウは直ちに、内弥司法院資事が高

は去る七月二十九日カムチャウカ

は去る七月二十九日カムチャウカ | 三日権太國塔県海岸で形人漁民が「東京協語」館漁船第十三海國丸 | 結果機成するに決定した、た任十

又も漁夫拉致さる

選ばの質縮に置み選続続度に となった、 政府質量としては るととなった、 政府質量としては のでは、 の

を加ふる要あるを認め、その要項一表に抗糖を提出釋放方を要求した一を交渉せしめることになつた

スク総在田中館事より同地外交代公物に附されたがベトロバウロフ

七月田中部等に割って続し撃敗方

委員的を招集することになったが 【東京電話】農林省では来る

近く處分か

率0

検近の米穀事情より推して同委員

既においては政府米房分の他が附

四班牙不干涉案

用鄉域打行

現日、水中、 居舗設力御罷焼下さるやうお願智(十七日正 下さったと思ふが今後もなに)をの ふる 帯図 ホテル に

館すること 總監を首め勝段強重、大行内が兩一 の研解開保着を指符、水内側から

何でも致しますから遠慮なく御我々で間に合ふことがあつたら当し水野氏一同を代表し

開會期を繰り

加らず年末年始の間の体が開間を一切らず年末年始の間の体が開めからに、

よつて臨田首組はこの方針に基さその手初めとして出来得る限り き所が有及び内閣調査局並に關係協同において連絡協議し慣採擇された電型國策の實行案については附議の決定に基き引

|古、宇佐美勝雄氏等以下三十年名||国し水野山一司とせて、||古、宇佐美勝雄氏等以下三十年名||国し水野山一司とせて、||2011年後まま・1

| 同日の各交配の認向は十一月下低 電質管行上その他にも好都合なの で質成能が必かつた複線である。の で質成能が多かのででである。の

内務、司法兩事務當局

選舉法改正案作成

調査會に参考提示

|| | 旅館人の一部で撃の花を突かせて|| 「永野」海相|| 海港は陸単に出 || 佐名の電観なるものが最近盛んに|| せらとこから出たものだ || おりとこから出たものだ 相の四氏だが、此四国派に對して相、未要を招、馬場派由及小川西

相は外面如菩薩の先づ財界人の

たか (辛家な内容をもつてゐる

馬塩穀相 所謂品道整明な

| 労働器同盟幹事はマドリッド市に | うがイギリス保守版の

栗り込みスペイン人民戦線に協力

カリーであるにも指らずフランス欧か ありファシスト 巡覧を支援するか否か担 電報電を援

ノランス國内

協力スペイン

必勝第問

0

準備

大郷はスペス酸局が果

以上の配後四手取に出る場合はヨ ぐり正面衝突を滅することとなら一の興論も相當不識の様子である と左翼跳艦とはスペイン内配をめ へにおけるファシスト政権 | 所は不刊沙衆雑誌にのみ 楽走して

は、置縁態度の根本的歴史は一個一のである
は、置縁に関するなからに、近ても、「というには、自由期間化を主観として審議を選ば、関係に関うないのであるに、近立も家様には、自然には、自然に関うないのである。 窓は既正歌謡の摂幹をなすものと一等の根本的財正問題は今後の撰重 が、しかし智盛においてはこの版が、比例代表の進代表記等が成立。 ルクツ市に引援けを了した質十七が、しかし智盛においてはこの版が、比例代表の進代表記等が改立。 ルクツ市に引援けを了した質十七世にといる。 日外務省に報告して来た、なほマ 行は十三日無事サンセバスチアン とになつた、有田外相は那人一名一族と共にパレンカ語に退去すると ドリッド市に踏み止まつてゐる高 【東京電話】矢野スペイン公使

夕刊後の

函安變變

市况

先至三

Constitution of the Consti

入試問題解答陸軍經理學校

£

むところに先つ政府の逃むべき戦しある様であるる。云ひかへれば軍部が政府に盟しある様である

り、肚不可であるとなすものであ

ら狭するところあるべしといふに

るにその財政意見の既化を反映せ

○●それによれば一八七五年に で非合法解男女職館を戒めてる選する大見出を場げ▲辞々とし は毎頭に「私作児を消るな」と

拉馬王

直

と験・受

五萬三十四日

てあるがまだま

た に 毎 週 進

ロ・デ・ローマ紙

▲脱近ファシス

[平式化語] 職館總世間北西第一 (改長に権し 臨時時 原)中数は成態に こっく (名) では (対) では (が) では (議會制度特別委員會

1トに入り南總督はやをら立上り なら建設して設大時から呼吸に端、沙閣が建設を開立せんとするラランスや回溯らずも前幹能費に設立せる。
 2年設入時から呼吸に端、沙閣投資機会の形式で各国政府のてゆくことしなった。
 3年は別 て明かれる話り建程の破疫療に端、沙閣投資機会の形式で各国政府のてゆくことしなった。
 3年は別 て明かれる話り建程の破疫療に端、沙閣投資機会の形式で各国政府のてゆくことしなった。
 3年は別 て明かれる話り建程の破疫療に端、沙閣投資を関止せんとするラランスや国際では今まで色々と個礎カーんだ

めて国々型に二番員ぎ敗疏した。 の重大化を難けると埃に國際戦局、昵答を襲へないため事態は正に節、歌觚崩蜒を拱手仍襲出来な、事態、と書籍を基式鑑定発源を交往し種 (パリ十六日同盟)スペイン内蔵)所は宮を左右にしてこれに窘勢に、ランス聡勝はスペイン國門の左戰 政府はその唯一の方策として不干 | 獨併兩國政府は革命軍の勝利を豫 | との見極めがつけばスペイン内記 | の歌解を求めるものと見られるが

と同じ様に多強 國として知られ るるが▲共反

の危機を阻止せんとするフランス機の疑の局面に落着するに至つた

一支持を要請したが、獨、伊南鼠戯一選延策に出てゐる、これに對して一る意向と解される、既にフランス一されてゐる 想し不干渉協院梁に對しても黙ら一につき完全な行動の自由を則復す一との程度の買着が行はれるか注目

(元) 同当 (元) 同当

期の脚頭については単に寄究する

指官邸に別所、林博太郎氏を委一門の結果を報告し

すること
「同三月下旬召集六月下旬開曾

にあり獨伊斯國政府に誠意がない

有事名紫秋山)

緩和する必要あること等の理由に

オロチョン

型する彼等の緊張のほどは窓す あられなくなった。一九四〇年 この緊張反省と周到和備をたす も同様複雑せる窓数を懐かずに は戦機の歌喜に狂喜品舞する前、

なものであるだけ、その人類社會 る。この三者は関筆形式の代表 ての闘争には大服三つの形式があ の三者の一に参加する者は、 上及ぼす影響も重大である。故に 概神と 東面綜合の 政治でも

能、はた契哲學的意識が存する。 館とに對して考慮するところがな の遺伝観念に於て、深く人間と社 朗性と、鷽神慎平和能能質とは、中に おいて、スポーツの持つ 脳 ければなられるそこに政治、戦争、 何時の時代においても、大衆の愛 ペポーツの社會版、文仏的、歴史 殿に提ざるところであり、焦

すべての人の認識せるところ、最 部時日本に投けかけた規則性は、

なといった概がある。 それほどになった 對する遺伝の重大性を十分に反省 である。この事を考べる時、スポー明明性、平和性といふものは偉大 優勝者だるものは、その「優勝」 するの要がある。またスポーツの ーッマンはその融質に對し概念に スポーツの持つ社留性、大衆性、

こいよ現實が砒酸に異へる「英雄」食の気幣と鉛がついてあることを「きた、尤も、魔政はこればかりで」たりする、だかに解語したとか、 一般にも異常だつたといはれる、支那に選せられた有名な理解は基盤 身生態を通せねといひ、それが無、がホルモンからくうことが割って、は膨胀がないから、質者腑になつが、おの臓のが人はどうしても寒、に四分を思の趣まで、寒寒の異常、して不幸であるが、下居のが人でが、おの臓の解放と辞趣に調べた。(四分を思の趣まで、寒寒の異常、して不幸であるが、下居のが人でか、おのの解放と辞趣に調べた。(四日に接きへ口 スプロゾーなどに縁に嫁入の歴 ころか、が通の光が生活されもお 婦人の犯罪に興味をもつてるた」といはれるほどの題行よりだつた。 さへ守り適せない、貨船人になれ 億川時代の丸態おかめといぶ墓 てゐる、眩しさうである、藍色と て、男子との交際も鑑い、獅身で

のでは「技」、自ら得すること様 指摘してある。 となしとせぬ。語だしきに至って一世つかない がたい。こうは、こうないである。このでは、これに適当生物とかにいましています。 はなく、環境を持ち通じたかったとかいっ。とうければならない、どうしても、産婦とかには、中央地ののお生物である。このは、 こののは、 こののなど、 こののは、 こののなど、 このなど、 四年後の東京におけるオリムクタ | 那の朋志天后とか時太后とかいつ新の知さは正に呪はねばならぬ。 | 僧にすり合うとすします。 | 3

獨身を通さね婦人と

醫學的に見た婦人の二型

g

万が正常といへる、無意味た獨身一

だから、顕身を進せれ婦人の

愛される場合に立派な婦人であ

て切様のごろくした意館の向ふ には修査たる白幣機が置き、南方 て、部落の北東は臨い小丘をたし てゐるのであらら、膨胀のやらな 仕事に出、女等は部屋に閉が籠つ

ョロ河の廣調な谷間が弱けその後「(ウチカン)さして事事の禮をす「、外に出て、牧棚の間を縫う

家々が白い牧職に励れて立つてるのダホール人が作った朝堂を終へ一覧つてゐない。長谷部さんが『リ 膨脹を着てその上に常を巻き極力 かり」と他がされるので、そのま像つた号の火五尺内外の常磁た面 ごきました。この形音の外れに露めて力をすから行つてみません て旗舞分駐所に縫く。漢語がりで の私達は昨夜の 歌年タボテョンとを際トンゴン

ヨル河原住のオロチョンを呼んで ーは私選の馬を取りに由中部落に

を記載がなー一般も一般低 ても記載がなー一般も一般低 ても記載がなって語源から考認し でも記載がなって語源がら考認し

哈運賀日本總領郷館」とあつ

認領事館の大兵板には「在

と用ひられてゐる、一方涵湖に公文書一切にも「哈麗寶」

て同骸脚市公装調ぎ属ではそ職都市の面目に觸するとあつ

哈爾阿か「哈爾迅」か

「ハルヒン」か「ハルビン」か

のとする識である。汉市小宮

存出式に統一を除くは極

即ち「好き磨」が感化したもなのは「好韻(ハオビン)」

野獣を追うて幾日 の露営 一種つたと云上窓で歩をはやめる、正答つて来る、いよく、本物に出 路を北へ歩いて行くと、 を確んである。とある小点い丘の 五六名成の衣を着た丈の低 あらる職楽しい駒があちこちに草 必要も私達を認めて近付いて来て り出した。通識の第を取つて居ら かけで一緒に至つたら監備の優が、ンは漢字を古事に於てはオロチ んに配識するが自ら進んで表から らながら色々質問する。 初めは新

| 解裂したと云ふ、一方器形で源句トンコンボーはその青八人の男や

同志で仲良く、然く紫禄良い清年

である。『明日から御前達の家に

に意義で示すやうな天幕の群が 向うから く、壁都は支那語で誤ってゐたが 次へと選れた者のやうに認って行

引き後れて着いたところだつた。 ンゴンボー、カボチョン等か裏を 自石氏を出て行くと「アイヤー」

む土地として『変』とするの による観音は「ピン」か既はつつある、なほ、その日本語 「ピン」かといふことは、

をみることであらう

原地を育く、我々の天幕とは異つ」と、左手で右手を握り左に第つて | たへてあるが今階は窓底深して山原地を育く、我々の天幕とは異つ | と、左手で右手を握り左に第つて | たへてあるが今階は窓底深して山 帳のやうな一張の天落を持つて夏 か降れば白藤の皮を剝いで此上に て御を沸してゐる、經學は此數 後等に取つて、間沙器管の謎適 | つた恰好をして、「アイヤー」と を間はず歌子づれで密林の中に 就を迫って総日も彷徨する、 者、 1972 - 19 17 石足を後に引くオロサコンの仁実 | の端には電光が発力に壊滅する。 一窓されて、同行して来たダホール 膨盛の核心に觸れ得かい、言語の 記するのであるから私の方生仲々本語に通識して悪いて、それを範 かと思うとやがて彼等の言葉で辞 が騒ぎしくするので外に出るとト う、歳々にダホール語が出て來た外國語は面倒になったのであら 。夕刻蹄の音。 頭を振る

。焚火の

のものはあり得まい、生活が展始」で摘まみ足を關節の所で一寸囲けの方法ありとせば、この天森以外|管へるのである、女は南部を南手 『哈爾賓』か『哈爾濱』か

。北満の夏の

とは蒙古都で「覆香たる」と「哈爾濱」を語源とし、哈拉の調査による新級としては

いる趣味、その昔この財五一

ハルビン」ではなくしてむし裏書され、同時に證み方もっ あるところからもこの新蔵が

の異性の普神性像認識がある、父一である、そうでない限り、獨君で り音長、その解露から適好を守り ストン・ラゲオフト、ヒニーワ要常学様の機主でなく、高い解露 ジョセフ・ウッド・クラッチ、 の結果、その敬意から場日を守り 暮すと言ふことはあまり意義のあ これは特に、未亡人たどの理合 國際賞の小説 一上ア生れで多くの短龍、小説、熊 て國際哲小説を選上所である ボールがこの夏ロンドンに創合 ルドルフ、白、ピンギング脚上、 の作者である、だが今度の「下つ とは概率的に異色があるといばれて行く階級」は彼のこれまでの作

は其の監督の第い事世界の劉黙領アメリカの國體語事堂附続国際観

明然しやすい、監は総えす戦権し 今度は反對に、中生婦人といつよると見られる、一寸した到戦に が必要になりさへする

る、延は悪く奏く、光帯を帯び、一らしくない闘づきで、男気とつき、自分のなる、延は悪く奏く、光帯を帯す、繋が充分ではない、一寸見ても女 霧息の人は分裂作用が暗線で、汗その他、難して鼻蓋が離縁で、眩眩にも感 であるいふのはこのことだ、この融の癖 寡すことを疑う整がある、これは「生態の穷い

響館の第子になったある青年が

特有の深筋を示さな

點滴石を穿つ

の無視とか子供の敬言のために獨しファラー・アンド・ラインハルト、 出版の安定と適當な保護者が必要。國の出版者によって経過されたも ワーナー・プラザース、十一の外一ントン」の字も斟めなくなつて居 「下つて行く開設」はアメリカの るお上りさん連、語も思ひは同じ

クインタイアーの「下つて行く院

かの形で男子の直接、間接の旺趣

段である

ーをさいけるものもあるが、何等

また宗教や社會事業にエネルギ

し選はれたものはジョン、T、マ

真國宮小説競技にアメリカを代表

母で過せるものもある

この方面の活動に向けて、生を痛

ことによつて、

独物エネルギーを

觀とか兄弟とか親戚とか、そし

職業や子供の敬青に復頭する

ることではない

舞蹈の場合にも、大てい何等か

「水酸化マグネシウムは本邦に於ては築用として用ひられず、上岩崎英爛の雨氏の署名の下に、左の一文が掲載されました。ま近の「治孫學雜誌」に和泉橋浜院の醫學博士化輪盛及び醫學人のために特に鑑製したのがクリマグであります。 私の健康法を理論的に承認し、これを経議しながらも、これ私の健康法を理論的に承認し、これを経議しながらも、これ、私の健康法を理論的に承認し、これを経議しながらも、これ、私の健康法を理論的に承認し、これを経議しながらも、これ、

福者后告

理光を鍛れて再度渡来することになりました。 私の健康法は、人體の二大主要因子である陽と脳とを基棋と 私の健康法は、人體の二大主要因子である陽と脳とを基棋と して創案されたもので、萬病は凡てとの二者の逆まに施区を持 して創案されたもので、萬病は凡てとの二者の逆まに施区を持 して創案されたもので、萬病は凡てとの二者の逆まに施区を持 して創案されたもので、萬病は凡てとの二者の逆まに施区を持 して創案されたもので、萬病は凡てとの二者の逆まに施区を持 して創案されたもので、萬病は凡てとの一種健な間力と を同時に独得し、心身の圓満なる影達を期するには一に西式健 を同時に独得し、心身の圓満なる影達を別するには一に西式健 を同時に独得し、心身の圓満なる影達を別するには一に西式健 を同時に独得し、心りの圓満なる影達を別するには一に西式健 を同時に独得し、心りの圓満なる影達を別するには一に西式健 を記述の根本的基礎となつてゐるところの、血液循環 の原動力は毛細血管にありと私は主張するものであつて、これ は三百餘年前ハーヴェー氏によつて唱へられ、確実の原動力は の原動力は毛細血管にあります。 本は、今回、私の健康法や私の學説を海外に發表して、世界 の影響界の厳正なる批判を仰ぎたく、この度英文の新著 Nishi の影響界の厳正なる批判を仰ぎたく、この度英文の新著 Nishi System of Health Engineering を公にしました。

る西式健康法の信奉者諸君の招聘に應じ、

こと、、又夫々副作用を伴ふ供があるからでありました。公敵化マグネシウムは、服用に際して分量の制限が必要である以收せざるを得なかつた理由は、他の二つの製法によつた液状三つの製造法に成功したのでありますが、敢へて外國の特許を私は、水酸化マグネシウムを液状化することを研究し、幸ひ私は、水酸化マグネシウムを液状化することを研究し、幸ひ

驚きに使用してみるクリマグの虧間は、 惱と脳とを閲案化したものであります。

著書に就いて

の爲めに拙著を紹介することに致します。に講演と著述に力を注いでをります。左に西式健康法の研究者に講演と著述に力を注いでをります。左に西式健康法の研究者として、特

に日頃の感懐を述べて、渡来の挟拗に代へる衣第であり、 に日頃の感懐を述べて、渡来の挟拗に代へる衣第であり、 を以つて間胞の健康地進への土産とする心算であります と、以つて同胞の健康地進への土産とする心算であります。 一般で行政の實際是複繁し、これを自身であります。 一般で行政の實際是複繁し、これを自身であります。 一般で行政の實際是複繁し、これを自身であります。 一般で行政の實際是複繁し、これを自身であります。 一般で行政の實際是複繁し、これを自身であります。 一般で行政の實際是複繁し、これを自身であります。 一般で行政の實際是複繁し、これを自身に満ちた明るい。 一般では一般である私は、出來得る限り外遊期間を を以つて描き出されてをります。 一般である本語、出來得る限り外遊期間を に、おそくとも十一月末には歸朝する日程を作りました。 といって描き出されてをります。 一般である本語、出來得る限り外遊期間を に、おそくとも十一月末には歸朝する日程を作りました。 といって描き出されてをります。

国山市内山下三六分曜方) 国 田山市内山下三六分曜方) 国 田本内山下三六分曜方) が が 大連市光島豪 三四 大連市光島豪 三四 原 原 島 四 會 金澤西 山西會 **等**西

直西

八月西式研究會

二分分 會

使用組では適時の水配で大打壁を してめるが、相らず人夫不足に優 で大手が見の三木、声 から被唇に至るまで大男力で迎じ うけたが、松工勝く回復――早朝一まされ期限内陸工が多少期念され一つれる睦丁 の無策か つひに夜業を開始

たら好機を逸声 高周波工業曾社の護渡申出に對

埋立完成し

法外な地價を吹きか ッナム解薬==大石武夫氏(4) に努めてみるシナム解薬==大石武夫氏(4) に努めてみる 平七十六聯隊中野大尉指導下 別九時から羅僧小製校器常で步 **韓国」防党を行政とは既報の如** はき行はれてゐるが十五日は 各班、渭防組、女子青年融 隔離病舍

羅津の要塞司令部 看板を掲ぐ

業別社の手によっ

組出張所跡に假廳舎 幹部の顔觸も揃

選進することを申合せた 毎興南背局の重要案件十數項に開

野殿に沿よ

割皮介川の

埋立地で

新

省の位置は部計第一區西北端區境

静中の

如栗

製一

英五

于

国の

設可

あ 機分するところあつたが、目下申田口呂長始め職保護は十五日貨地

有水面地立発許をらけこの程 他として新安洞四一二番地の三の 『俯台の新祭についてはさきに敷[四津] 日本年度新規事業たる税

スレート暦平家三様である

兄弟溺死 [羅]至南

西野および整路教養強闘は今月末 | 本京単二 更起第二、1回三更延順二、成北府中部 「異常」或「平市生れ呂内側依何二、四方側の北府中間 「異常」或「「10万段」及「100万段」

地向十萬坪の分離方を申出た

官以上の部政十一名も看

會寧の誘致猛運動に對し

進金元山等々、咸北は城郡解道、

料と種胞料を要するが確定協問以

責任感を語る

城津商工會心奮起

補地を調査

令部開闢に盆り米岡司(は今後一切要率司令部の許可を要 帯の設定により同地方の高度撮影 「話す」羅琳を中心とする要素類 届出を希望

魚菜市場

げられ結局兩地の比較調査を行つ一されたが常局ではその後領軍銃総 貢館を聞きこれが樹か頭につき屋

正後的決定をみる模様である の結果的議談全部をそのま 1任命

国境線の初度巡視を行ふ設定 り同地から電壁、領域、機域方面 | りをしたが、十七日は清津に到り

單身羅南に乘込む

一蹶旅形技はじめ各隊野校、見島道には非出十九師職会戦長、七十三

められる冒頭事館令をもつて公布

らの法能一部遺憾に伴ひ管護に改

政策」日本高周辺軍工業地建工(の突起を禁造する空である
は用地関牧門軍等も「寛著を告」 明春四月頃に竣工 興南發展座

咸興鑛業講

延吉の内地 議員は重任

吸引組合四五の比率で日本流

が長、小山阪四組合長の間

時から国際ホテルで役員資を問 四連 清潔労役社は十三日左 一萬五子園でこのうち三子園を 過金時間、理事情過等に

本家本氏、元山部鉄所一時来器、十五日上流遊天堡の

脾肉の嘆」は 二下り牛の嘆き 森林主事補詮衡試験に

地と省公割形跡所等の諸官衙街と一

十五分編用殿着列車で看出した際 [本] 新任步兵第七十三聯隊長

國哈通河

銀哈通河に架設中の延吉鶴は市町「北井」東端の首都延吉を纏る布

渡橋式 二十二日舉行

番百州名を超え中には北晋、殿子の殿も西しんだのは緊幕を戦地主事が監飾対談には顧 の庭郷は餘り寄しくない、受受山の兩地で質励された顧 させたが蛇記試験、機に風跡の風間はまる三四の兩日庭與 あり試験部長谷川樹師を仰天 腹を抱える珍答案

が一手に錯貨ひ、峻工を急いでる

三木飢埋立て事豊四原内用心で水 工事進む 林震重の戦歌工 てゐるから竟定期日等に悪れるここの関人は去る十二日午後四時頃 前形安破道 「雅井」南安禄 るが今のところ願る熈淵に逝がし

割を配した

涼藤惠山醫

鑛業家が頻りに實地を視察

ある観察器中には関備総理事権計「軽渡符有の各職権典を職し大延吉れるものとみられてある、この数」配備中であるが一方民間側でも内

ちかく開發を期待

質氏や東京に本配を置く三和鑑業一の将來を配載すべく計造中である

空山で 」 道立思山質院長療婦安 府衛生交跡として九月上班一位任一年七ヶ月で近く退職

咸南の新特産品

亞麻製のネクタイ

毛脫

穀物大會で大宣傳

はさつばり當ていて、又寒腹計をなく只定外へ掛けがら一米、回薬箱)を作つ

劑

EV 340

|| || かねての翻縦である危境

の職衆を見た同地方複彩の韓山菜、間跡各地の砂金、山金と珠に地下各地と連絡をとり織りに海峡を配。にある間壁香港の間野路問題が別各地と連絡をとり織りに海峡を配。行される娯響であるけてあるので他目句歌をかば訳さ

山口武吉氏もあるので、やがては

華川の電燈

興南のミナト祭

あかす目胎見の興度みなと祭は野梅田の四氏を選び、 「威興」全興南が壁の一夜を踊り」として検査役に迫、

示して、合併條例その他に對する

興郡

素晴らしい

姿.

態 美× の合併係似を提定、ついで水産

急速に内容機

かる

伝輸銀色の人口は「するので昨夏工事用始以来これが武、本年六月末坡」産業大発線道路の展點な役割をな武、本年六月末坡」産業大発線道路の展點な役割をな

前途は先づ悲觀戸敷二百四十五戸滅

警官增員陳情

世二日曜工、渡橋式を撃行するこ

は先殿墨山西民からその脳へ陣標」で遊長組に落札(嘉山鋼)磐線官の増設について「穿入札を行った。(嘉山鋼)磐線官の増設について「安田、西本、種

北鮮の温豪総動員

打ち上げて一般に別知する。明他の場合は午袋四時から惟花を

め、その承認未満に退因 今回別退し後世は戯北遊覧問題長「雄基」と興和が矢島孝三郎氏は

思ひ切り大鵬に素肌美をお覧サツバリと取り除き

深い脱毛、脓毛、脛毛を

夏の女性としての誇らし、「爆篩し活躍するところに

ひと愉快さがあります。

本社主催の全鮮野球大會

北鮮豫選の日取り

河水規矩大 佐——雖南歸

よつて設置されい二十二月着任以來

十九對二の大差で

深い腕毛、肱毛、脛毛を除く若い御婦人がエワクレームで です、殊に脈毛を取ることはのは今日の新らしい化粧常識

脱毛劑もいろく、模做品 忠臭の殺散を防ぎます。 一快なワキガの像防にもなり

とて教養ある淑女だちのとて教養ある淑女だちので使へ、且つ、經濟的だて使へ、且つ、經濟的だい。本のでは、まる質別と、結局、エグリンのでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のできる。 好評を得て居ります。

り大瞻に活躍されます。 けた楽しい肌地で、思ひ切 海の女王だちはエヷで仕上

12盗竖2 8 地之内 4 三银5 2 4 点 8 四死5 34 森 10獎码6 5 + 品 3 失识23



必ず實現する 國境地方巡視の

國富觀測所長の話



【肩州】前後二回に重る家間で忠北道内では

見さる大被害で時日を經過

痛ましき水禍の總勘定

川府勢振興會 役員會で四大問題經過報告

孫選手に感激

【111】所次與與敵では十七日中 の四大職艦につきを敵の渦脚暴眩、離した利悃の歌手が盗はしいスポー芸劇、医説のほを揮立したところ。 ▲行政階域廣義 ▲江原政道促進、所以を組合第二期の歌脈に入る智、所事を訪れた朝鮮人歌手が名割も、で名割を追及したところ。 ▲行政階域演算 ▲江原政道院を贈さ、離に今後の財政につき協議を行ひ、「尹献金――十五日朝所郷に永井」り、そのまゝ立ち去らら、金行政階域のはでは十七日中 の四大職職につきを敵の渦脚暴眩、離した利悃の歌手が露にしいスポー芸劇、医説のほを輝かせる

體育會に寄附

を設定すのやうな世界的スポープを設定すのやうな世界的スポープ

働き甲斐がある

をは落ついた、十三日午前九時初 とから入、九年前高時(原本財政で第2)同に当し部が の異務高長に護行して来州に行一で埋めた の異務高長に護行して来州に行一で埋めた の異務高長に護行して来州に行一で埋めた は十二日午後三時十分臣民学数の一版内各方面を臨訪、府共戦に納まて、一島山)新任島山府共戦正第一氏。を興へた後日越内務職長の総内で 藤江府尹初放送

一種語からそれと、新習ぎ出して、第四の海は綺霊流しで服はつた、第

を徴して財政の進展に努力したかある。これから各方面でも昇 七川の精霊流し

對英二割の

制限を突破

「百七十八萬二十七日五十五個四 仕向けられ、大體九月二十二十八萬二十七日五十五個四 仕向けられ、大體九月二 朝鮮電球更に躍進 一般語と見られてゐる、因に一月仕向けられ、大體九月一概までで

僚友の愛見

級

ブツカ

四大阪商船出出

屋南の米作

\$

置せんごす。 佐な特約代理 佐な特約代理 に変数返に理

あ

建設者、満

1

天下の奥様

ヌラ

方に台所の

女王たる名

實收は例年並

植付反別増加で

分の破敗に至かれぬものと質局で | 四重海岸に漂着した金質魔の飛死天候が焼進しても一割から一割五 | 日午後四時ごろになつて祖山面質 【章出】 盟南道四一章の留作は打 | 不明となったので部落民の態数にないたので部落民の態数に 發育不良を補ふ 體を避見したが、たほ一名は不明

Va

を御一家たる女王印

揃っての 健康に辞

> 英內所 シヤペンタ

品格を備へ に恥ぢざる

(代型图·条内图 (代型图·条内图

倉庫破り

二犯の札付

豪遊で發覺

道順學 (學形) 腦 智

でいる相信高級那生れ別科二級要能 ころ有は高級那生れ別科二級要能

の不能男を引致、嚴重欺瞞べたと 単が遠城町の基スリチビで蘇避中

人師】去る十三日女大郎。李胤

が到尾酸りを仕事とし夜はキオン 叩触孫所出所後も散慢するどころ

た浮かれて あたものと 物明、 見下

遊

植(角州)

在確〇〇隊長 十四日朝

用

個語は智道面

第五五四六六五號 第一九六六五號 第五七六一二七號 第四五十六十二十七號 第四五十六十二十七號 第四五十六十二十七號

の 水 行 (金行) 伊日 (郊) 中日 (金元) 伊日 (金元) 伊日 (金元) 伊日 (金元) 伊日 (金元) 伊日 (金元) 伊日 (金元) 中日 (金元) 中日

傷者百五十名 破壞家屋實に千百五十戶 一年來の大慘害 **認線道路決遺流失五ヶ所、同流失一ヶ所六十米山與五ヶ川線道路決遺十ヶ所、七百米暗聖同二ヶ所《二等道路忠** 道路天安大邱線道路決選一ヶ所五百米4二等道路公州等道路「京城釜山線道路決選二ヶ所、孫梁破損二ヶ所、 水七〇八戸、船流失一の地響は朧な近一一一戸、半流二一八戸、設置の死二、家庭院と二八戸、設 三四一米、樗梁亦失一七ヶ町、破野野三五九米、総積を加茂八二ケ町三五九米、総積を加茂失潤一二大田畑の流失四世以上五町少、本田畑の流失四世以上五町少、上十町七尺、船舶流長水九、二七一町七尺、船舶流長、五、山崎れ一四ヶ所 及び関東都では行方不明一、直ば、全流五戸、半流七戸、漫水一三戸に 陽郡の死者二名、家屋武失六戸、 以上の如く帰避たるもので紅中英 元本府屬託視祭

に変め、この程泉域の赤十字高端。ところ、二日、三日――日がた。黒河内氏は霞波が巖もやらず弦瓣(はれた讖)君に細譚の血を注い。

瀕死の病床に回生の喜び

殖銀行員の美談

|が、婆兒職|||港(子)は仁川に来る||を乗つて輸館志瀬を申出た、館後||月仁川支店に勅職した許りである||若い行戦|||十名がわれる|||と先

以上合計道路缺流五十一ヶ所三千三百七十五米、橋梁破槌流失 洗越流失三ヶ所、山朗十九ヶ所、

驪州郡下漢江に咲いた一

製技職は及び駐在所経営力し 所、畓の流失二町歩、同畑渡五町 西流失六ヶ所約六十間に及び道路一ら濁流中を流木に圏つて数ひを求一 の破敗も六十間、楊梁の流失一ケ 路り没水家屋二十九戸、田城家屋 一月、半脚家屋一戸を真し地防御 養殖青年開資本施売者("ごは折から北内面五額里の江岸を磐卵中の 【顧州】 ◆……十一時午期八時 三 | 工廠巡査の三氏は三名の人夫と共 | なきに至つたが、保健工夫大童!

この三名は忠北忠州郡俗民洞林皇

大邱の花火大會

味三名ご用

に漁船を測ざ出し既に御流に吞す。」復選に努めた結果午前十一時半新

他人の船で

水害美談の数

度(エ)全塁五(エ)全関線(エ)であ れようとしてゐる胸記三名を敷助

(で)に自宅も底に常際に瀬。十六日午後入時から大崎川で銀行。三名は去る五月下が成から吉当町三路内里園州水院院建設。昭日最紅主艦の恒例の花火大崎は、野町全が盛气と同町山福恵舎。この一路内里園州水院院建設

江を遺滅中の金沙面梨浦里高湾坦 能球費(€)は郵政にもただ一人小 を扱って折から丸木に関って政 同日正午ごろ北内四川松里 無 ◆……・台内県門里園州水防閣員北 | 5里男名でよは自宅も既に常庭に置い | 1 とったるにも拘らずこれも含す連 | 1 とったるにも拘らずこれも含す連 | 1 とったるにも拘らずこれも含す連 | 1 とったるにも拘らすこれも含す。 一感謝の酌となつてゐる が、同君のこの犠牲的精神は呂民 は遊失一物をも提出し得なかつた

慰問と救療

和三、四、七、十年の六ケ年に壁「十八銭、別校学観測室」百八十七の草暦は大正八年、周士三年・昭「昌面麓」 魚二子 三百 九十七田三

班税一英五千八百十八回三十七錢, た関係、地方なその他公認金額は

級の選い早割のため始成以来患北

他したが水路とは見そ

つて慰つなが早密の範囲は太正八|田六十二銭、問題戦|千八百五十|

全心に寄り昭和七年は七四、同十

同士三年船に昭和三、四年は

五郡、同公面は祭計五百十八昌面

を算し被害面器は大正八年が最も

だして八郎二十日七十八町歩に

町歩になり恐作物被害領は大正人

水漏の後また

水害地に悪疫猖獗の兆候

間を邪頭に合計

一千八百五十五萬

達してゐる、この學問數院の爲め 八百卅二回といふ思るべき数字に 年の九百八十四萬二子二百六十二

【清州】お天道様の億力は草魃か|関道買支出總領は二十五萬四千百|地の文山里に於ける被害は担當地 四国二十九鐘である、また破死し一大で清州、文義加交通は全く比絶 し住民は盛の中の田同様の破目に 四百四十月破壞 **犠牲者**一十八名 慶北の被害も増大 難した

二粒を協力して小州を漕ぎ出し無風("**)を超見、金鍋風、郷容韻の めてゐる思州郡城縣面温湿里亚今

既が膨以、直もに含を報じたので向つて戦闘を飛めてゐるのを部落 殿岩里光の波江の岩砂に野砂の鉛◇・・・・・十四日午後二時ごろ北内面 の二名を敷助した

▲岸本地方課長、堤道第一

「日から十五日まで出州都へ」 「金山」 初等製政の繁要観散元賞」都三十三名は慶政三名に引撃せら | 嗷と合し - 路崎校した日から十九日まで出州都へ | 「金山」 初等製政の繁要観散元賞」都三十三名は慶政三名に引撃せら | 嗷と合し - 路崎校した日から十九日まで出州都へ | 「金山」 初等製政の繁要観覧を記書を記述録』、同意統部及は等監督「水原」法院支援市庁権事は十四から十九日まで出州都へ | 「金山」 初等製政の繁要観覧を記書を記述録』、同意統部及は等監督「水原」法院支援市庁権事は十四から十九日まで出州都へ | 「金山」 初等製政の繁要観覧を記書を記述録』、同意統部及は等監督「水原」法院支援市庁権事は十四から十五日まで出州都へ | 「金山」 初等製政の繁要観覧を記書を記述録』、同意統部及は等監督「水原」法院支援市庁権事は十四から十五日まで出州都へ | 「金山」 初等製政の繁要観覧が置」都三十三名は慶政三名に引撃せら | 嗷と合し - 路崎校した

一部内災害地を観察し懸急致いから四日間忠州で堤川、丹

校質能人六千四百回、掲昇元當一

収支計算は左記の如く小作料设モ前年より十銭の収益増加となった 鉄に遠し一名當り一風二十七銭、収は渡に四萬一千二百四十一圓十

電燈料引

中學校設立も促進

大邱府民七大恐慌

- 早くも質的各無經路、近近時以入階等を懸納試して防陰に - ならしめると無に患語の早期が続に多めることとなった、 なは現在大歌に於ける際歪角些帯数は形線階第を教寄患語 ・ に直立管腔人院襲語を含せて赤町卅名區チフス五名バラチ ・ に直立管腔人院襲語を含せて赤町卅名區チフス五名バラチ ・ に直立管腔人院襲語を含せて赤町卅名區チフス五名バラチ

で一千九百二十四、直接教徒が二でその内井栗扶助の水利問票工事に一系四千五百九十一回二十九銭

では極力各無数を督職して院数に多めてあるが直質量ではは赤銅病で使且二三の誕生あり既認の兆があるので居営員 新たた脅威を感じてゐるが目下能生敬医しつゝある際染病間聞いてほつと一息人れたが次に來るものの際染病形態に は久し振りで太陽を仰ぎ水渦の恐怖みら数はれた任民は愁り止んだり管内は局部的豪雨との豫戦が幸に外れて十六日 【大郎】気間配置はまた温暖、今明日中大郎地方は疑った

事で十一英四千十五回、砂院工事

中で十一萬一千四、水利間整工

ルチ五百十三回に上り道段支出額

四子四百九十八四、合計七

「大ので今後に駆に懸奏数音の鑑賞では奥伽道盛に向つて真地子。 安郎して實施をおって今後に駆に懸奏数音の鑑 館では奥伽道盛に向つて真地子。 安郎して實地を助し、既に中戦政・海州が派遣等之後に関
「本郎」が派遣等之後に関
「されてるるが天際戦和の引下につ」ることとなり選ぶ(一部書なる語「大郎」 著聞顧書要奏献策略の一 きだ足段戦闘艦へ、また賞素将顧「献に入つな」

當局本格的施設に乘出す 清州繁榮會の飛躍 面岸城里重主点沿岸にさしかくつ。 せしめ総登の市日からの輸送山區。 野有の避婚にお人男女五名を便衆 野有の避婚にお人男女五名を便衆 **増ರによつて大した敵牧もなく大手町歩に及んでをり、結局はこの** た際抗協の緊風雨に要はれ船は取 **到るところの窓合までも植付を歌**に観測してゐるが、しかし本年は **歴別年通りの質収をあげ得るもの** 行した結果道内の山田は十七萬八 【献譽】十四日午後七時ごろ続磬 便薬の女客 二名は溺死 2 任義城郡縣務主任 慶州郡圖 任背松郡內務主任 任英區郡內務策開務主任 禄醫州郡縣務主任 林 十九日正午公司堂に官民を招待し「華山」登山附尹山本坂太郎氏は 师要州郡在勤 (鎌田新任签山ັ区兵分除長・十四一般祭のため十三日隆州着 銅玄湖山郡内粉主任 山本府尹披露宴 慶北辭令 面(汕域)

五郎 (金杲) 晋(開刊) 出平

養

赇 開題と問題を保証する。とのは、 選中の世界をして好

大 (株) (東京) (東re)

朝鮮汽船出帆廣告

地 野口 商會

代型店

土木被害《甚大 道路の缺流五十一ケ所

北道内に於ける土木方面の被害は最も激甚で土木淵では脈は

越も大祟り

始政以來千八百五十五萬圓

州萬圓の國帑飛ぶ

能は柳山郡とそれと、欧四朝宣に出張した は低報の外三好理財配長及長島圏は組設郡へ本田山林郡長及 ·百二十人《家居流失二百五十二戸《倒埋六百八戶·九人《同行先不明廿四人《雷慰·图者六十五人《福 自営領に選する見込みで観念調査中、十六日午前十時まで物

危險

を省ず

は日下戦期したもの百四十八名を算し版作號の被監 検戦闘査、職災者の歌励勝念教験に基つてゐ 検護闘立、職災者の歌励勝念教験に基つてゐ

辞かにし難く道郡営局ではその調査に苦心し **形態製地は 交通金く社総 の儘 で被称程度も** してあるが河川は容易に威水セナ殊に堀川、

慶南の初等學校

業教育成功

實績の調査で自信を得て

大和組回漕幣

軍運會定規



|あつたが、この程は単に完成し | してゐる、この結果これど接觸中||加工製作を | 青心般勢中 なり鉱道省、遊遊等をアラと扱か

場盟羅滕場主任川島 | 従来高價な低。路配を買入れる以外 | の新選、 政策修得等に要してゐた

年四萬圓の利益

赤痢なほやまず

だけ勝人して比較的能能な影響で に方法のなかつたのを今後は材料

しかもぐつと腹部に加工するとに一ので目下腺砂心で表験方を発発中 八月に入りだけ勝人して比較的酸性な影像で 約四萬国 も 節戦し得る を極めてゐるが

一一百米平泳制覇の葉室選手【本社名取特派員撮影】

敗日来の陸国出水で原染病は温暖

十六日まで | に遊して ゐる、 獅チフ ス保着は | 御土十名 | 獅子フス 日 十一名で | 中子 古 一部 | 一門 子 丁ス日 | 十一名で | 中子 丁ス日 | 十二名 | 中子 丁ス日 | 中子 丁ス日 | 十二名 | 中子 丁ス日 | 中子 丁子 丁ス日 | 中子 丁ス日 |

出水後の京城に大なやみ

「戦者・戦锋法は、 馬根の道「総附、 大量の振動を終ったので、」も近く公布される機器である。 には、 最齢を終って目下戦闘部に た。これが関処と既に均年戦略法 「た。これが関処と既に均年戦略法 「た。これが関処と既に均年戦略法 「である」。 「記しい 「 これが関処と既に対策の法 「 である 「 」 「 これが関処と既に対策の法 「 」 「 これが関処と既に対策の法 「 」 「 」 「 これが関処と既に対策の法 「 」 「 」 「 これが関処となっ」である。

番議室から近く法制局

少年教護法 。近~

選手停止 オーエンス

鐵道局工場に凱歌

熱管に成功

京城工場川島技師と李技工

晋通試驗合

上西眞一郎、王田翔夫、南遊・陸上軍のスエーテン遠征を決行す。「陸台川政府、金凞元、金國・あつたオーキシスを含むアメリカ・『韓中、朴八子、松下久男、森田邓 上軍の花形オーエンスの代表選手。の各所に放牧されてみた牛丸十六度按戦闘は十六日突如ブメリカ闘(平将平航部西海面関雲面及龍湖面 【ベルリン十六日同盟】 会米曜上

ることを拒絶した結果である。 るに當りオーエンスが之に参加す へられる隣に依れば同選手は既に

受けてある機構で被目身も費ねて一の機械に超を挟まれて資格これに 一語業を行った顧問は某女工が工場 忠爾大田本斯三丁目郡是劉糸丁惠 女工ストライキ

開出執行などを取行してる。

金山部隊 双龍匪殲滅

東方に起った颱島は十七日午前四 「港香十七日同盟」 フィリッピン

お野菜高

岩頭は扱こそぎくつがへされ、海 時度香油に選来、市四里る場の街 十四年掘りの大器風雨に遊遊した

マラソンの

お禮詣で 朝鮮陸協

半島出身の孫基備選手がオリムビ のメインエヴエント、マラソ

古蹟保存を研究中

5た古碑として保存されてゐる、一後ルンペン群を取締ると共にこ 東大門 はハンベン群の合宿所 が保存方について目下副金帆荒中 いいともなるので、東大門器では全

化して最近では夜なく、数十名

出水による既発属数出の傾向があ一光脱鏡の融祭に際しては一つの汚一なつた 大流城の都市実際上からみて上微、本間語では単梢を展調でることに、大流城の都市実際上からみで上観し、「や単年」はだいなしの感、附近の圧成選は「単か幸いと出て深たもので、會社はだいなしの感、附近の圧成選は「単か幸いと出て深たもので、會社はだいなしの感、附近の圧成選は「単か幸いと出て深たもので、會社はだいなしの感、附近の圧成選は「単か幸いと出て深たもので、會社はだいなしの感、所述の大流域の都市の場合という。

作性で無ねて朝鮮神宮にお精器り

京城府民の 水の手

死守さる

の選水作業に後期の登なからしめ るやう勘察を練つてゐる

さらに四名の戯が現れ南端に抵抗 鮮側に避難せしめて戦闘と交戦中 健康制造中の馬威を避見、船を朝 したが、我が延駐に耐へず、廿分 船襲撃を未然に防ぐ

段置質不断不休で家族の安否を顕

丁名は平楽の三交音観を解き登 んし、家財道長は一物も選び得 「没水をまぬがれたが、水源地

元曜を加した、昨年も洪水に見葬 州朝縣江巡擊四北所有船廿七後を

かされた、併し 實安程が部 支店 人の高等形事は協力授資につとめ

後式類四點を残して興地に逃走し

た、引聞いて十六日午前八時十分

詰めであつた逞め本人の名を深し

たものである

あては外れて 二度とも

本頭 観が現れ、帆船三変を襲ふて現金・小型向緊襲子海土地級に六名の馬

本語 京漫遊時州部影震回 発き

副島道正伯が ステートメント を専調し、この蝎多大の隣足を「知道面幸州外里職大側最優」とが選手館と一萬の日本前間者ある。西大門塾で出場中、十六日高陽郡迎へるに當つて少くとも二千の「西大門塾で出場中、十六日高陽郡 赴蚁高原探勝

つて西資をしてゐる者があるので 政江の増水で流されて来る夜を拾

流筏材を拾ふ

| 後院観像に訳き極力変変したか全|| り周日正午、海底町の裏安様の宅| てるた、綾牙島では「時版調べた」を設備部として押収した、かほ青| で温暖温泉がら興境することを知 域で内地人突破逃士事徒所で戦い

に出きり監督したが、安根の報告安し、王城ではは起歌を、他の大

間に冠されたガラス音型爆撃二個| 月十日午後三時廿分泉城闕着列車| 常里 三七片崎田園所を襲つて土 ため自動車を見失つた越えて十二

た、王誠は帰近、異面目に仕事に

【・ハリン十六日同盟特 員】

記者を通じて左の如きステート

局鐵新ダイ 原案出來上る

京城府外新堂里二三六

際立、十二月廿八日末旬、甘味の配山智高等係ではその動顔を極力に年の財顔を極力

が過ぎたの指揮を叩いで京城府外、松岡高大の指揮を叩いで京城府外

龍山署員のお手柄

観を見せびらかして「俺は之 は無智であった、従業鉄道

麗し、歌戦戦を見まもつてゐたが 際は立つて、 懐中に手製の態弾を

た、京城院則一見版館が瞬間に安

器に掘ぼれた一味六名を被告とす

院に於て山下松牧長係、西見

同一年六月 同一年六月

神典 類(で)

く配題な動機から計画されたもの

所に服役した

は京城和帝所で、他は西大門和帝 器は即月佐訴伽を設脈して事安禄

昨年の末から取開に取りその母連一それが、「総決の意義しがあり各被

の宇宙總督に危害を加へんとして

(学) 即畿曾信仰部を加へんとして、同世六日山下郷郡長から次の如く この事件は一月生に記事権等) 京城縣を建鉱に當時(全職を重ねること十四に及び、 同一年 ま

京城驛頭に待ち構

督をねらふ

昨年末に未然に發覺捕はる

味六名に判決下

3

過智與影響一個之、題片京城府 近間一種語型二階の酒格の中か では、金味酒南地事に

一般等は極々宇宙船臂の升速をわら

豫審に廻は

って十一月十八日頭七時京城縣皆

今日の天氣

見双頭の軽ある紋七十名の歴歌と 「ハルビン十七日同盟」場村部総 一縣山河屯東方八キロの地監で開

牛百頭斃る

|を聞め井戸消毒、内服薬の娯歌、|死を発げた

『東大門』を大切 集喰

なルンペンを

建つて

平南平原都西海面朝並而及龍湖面一るので府衛生歌では必死の防災陣

病原不明

指看

京城府水柴町一丁昌二京城府水柴町一丁昌二

1000000 校 县 副 島 義 一 料・男女生電影・人々は最上月十五日で「女」と、大人の歌曲は、一世人と、一人の歌曲は、一世人の歌曲は、一世人の歌曲は、一世人の歌曲は、一世人の歌曲は、一世人の歌曲は、一世人の歌曲は、一世人の歌曲は、一世人の

朝鮮神宮表記道 大 深 派

換手心器調用

學院不要、經驗有可 姓名 证 时

和本一

上四三番 後 昭



時から京城球却で行はれた市對抗戦争決勝は十七日午朝鮮教式野球場會干能第一

軟式都市對抗





『女店員 多集』 「女店員 多集』 「大店の事」の近時まで来 本可デョルニ 本可デョルニ 本可デョルニ 本可デョルニ ・ 来可デョルニ ・ 本可デョルニ ・ 本可デール ・ 本

大倫さん 募集平 現行き女給さん (内) 至急四、五名人用自人) 至急四、五名人用自然有場中につき本人直接国家教育のの神道派のに関します) での表面のます。

颱風襲來 死傷十數名

發明遂二完成

く出來る人造大理石

應用科學作用に依る

ことのと前月に出し影響したもの八日田出六十品の物質指数の調査に 1ヶ月間の京城公野市場における 十一品で縄平均を前月に比較す 京城の物價

平 壌 府 南 門 町 二 九一道一名宛一手製造販賣の特許權を分權す利六萬圓以上確實

でも割ると呼びたり 影射も選みのまく数作出来る でも割ると呼びに飛び懸ると事なし

一個となる

長

に製造出來る

る、雌上方、雌下りの主なる品 戦すると一期一分一脈の磁貨

) 煎子 (七分)メッケン粉(一上品) 類郎 (五則) 勝油 (大) (二割)

認識告仕り候 修轉き同時に從來の青木商店京城出張所を支店に昇格

廣

告

本電話

東〇九

· 朝鮮電球販賣株式會社も同所に移轉任候 一本店 佐賀 縣 有田町 一本店 佐賀 縣 有田町 一本店 佐賀 縣 有田町 一本店 店 京城 支店 一京城府黃金町二丁目一九九(東拓前)

新店

舖左

記

京阪辛勝す

聯醫 頭院

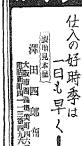
3

| 大 | 京日 | 安 中 | 本談 | 京日 | 大 | 安 中 | 本談 | 京記 本 六 八 古 | 京記 本 六 八 古 | 下記 本 六 八 古 | 下記 本 河 に 本 六 八 古 | 下記 本 河 に 本 六 八 古 | 下記 本 河 に か こ 見 原 前 は 一 見 原 前 は 一 見 原 前 は 一 見 原 前 に

1 0000000

随有関語能楽員一派人等果設妥あり 店型名は本質解解のこので読名 店型名は本質解解のこので読名 本及は職象内無代世紀十三年前 東京計場観客内無代世紀十三年前 東京計場観と「東京社会」





女中 水む 左起 (御照宮下さい 節本前一八一番 田

李二生 (四大門金牌組合展) 內科小兒 (四大門金牌組合展) 內科小兒 (四大門金牌組合展) 內科小兒

株 用 交換手一名単島人用本人來源のこと 恩

在 姿 吹嘘気別器習用値 人具を削断 武田産婦人科病院内 人具下旬より一ヶ月間 大利病院内 武田産婦人科病院内

特员等以

区元龄汽船出帆 股票有人月十一日 十二日

の見着さど 力を七心るには る氣分の 限ります

夏の體臭を消す 社交に絕對必要です すル香水の一滴は

9

是出常體 非來に溫

御試用下さいる實用新案『香り容器』をものも經濟的に御使用のを利用して其比類なき芳香を

携帶至便 高尙優美 **流線型** オリデ 手ル香水小瓶一個お買上げの方へ軒・販賣店に於て 170 modes & 即時進星致します

一枚封入の上 左記宛御送り下さ小瓶(定價五十錢)空筒壹個と三錢切手 販賣店にて品切の節はオリデナル香水

れば直ちに 右容器を御送り致します 本 舖 東京市日本橋區水天宮前 管り容器」